

(様式 1)

平成 23 年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 133	提案機関名 神奈川県養鶏協会、神奈川県畜産会
要望問題名 地域銘柄鶏の開発について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等） 】 本県の養鶏産業は直販を主体として成り立っていますが、この鶏卵直販に併せて地域銘柄鶏を加えることにより、更なる経営向上が図れると、各方面から期待がかけられています。現在、県では国との協力により新しい卵肉兼用種の開発がなされ、普及への期待が寄せられています。しかし、シャモ、比内鶏等を活用した銘柄鶏肉の要望も高いので、現地試験を組み込んだ構成で、早急に本県に適した新しい地域銘柄鶏の開発並びにひな供給体制の構築をお願いします。	
解決希望年限	① 1 年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ② 2～3 年以内 ③ 4～5 年以内 ④ 5～10 年以内
対応を希望する研究機関名	① 農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ② 畜産技術所 ③ 水産技術センター ④ 自然環境保全センター
備 考	

回答機関名	農業技術センター畜産技術所	担当部所	畜産工学担当
対応区分	① 実施 <input checked="" type="checkbox"/> ② 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 継続検討 ④ 実施済 ⑤ 調査指導対応 ⑥ 現地対応 ⑦ 実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 地域銘柄鶏の作出を目指した鶏卵・鶏肉の高付加価値化技術の開発			
対応の内容等 当センターでは、一昨年・昨年の貴所からのご要望を受けまして、横斑プリマスロックをベースにした卵肉兼用種の国産鶏について、組合せ検定試験を現在実施しています。 現状の卵肉兼用種の国産鶏を採算性をとれるようにするには、卵用鶏として卵重をより重く日産卵量を増やし、また、肉用鶏としては体重を重くするなど今後改良していく必要が考えられます。一般的に産肉性を求めれば産卵性は落ちるので両立は難しいと思いますが、(独)家畜改良センターとも連携し、採算のとれる「卵肉兼用種」を改良していければと思っています。 なお、今後の試験結果から「卵肉兼用種」としての改良が難しいと判断されれば、今回のご要望のように肉用に特化した地域銘柄鶏の開発について検討していきたいと考えています。			
解決予定年限	① 1 年以内 ② 2～3 年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③ 4～5 年以内 ④ 5～10 年以内		
備 考			